

令和5年度増尾地域内5避難所運営委員会の意見交換会

日時：令和5年7月8日（土） 午後3時30分～午後5時50分

場所：増尾近隣センター 会議室A

出席者：増尾西小学校避難所7名（松野台自治会 塚本・金原、増尾町会 高萩、加賀町会 山口・竹林、木戸前町会 國分、増尾西小学校PTA 山田）

中原中学校避難所4名（サンパセオ新柏 正木、新柏二丁目第二自治会 佐々木、加賀町会 中井、新柏住宅自治会 森口）

土小学校避難所8名（増尾町会 平川、増尾東映自治会 佐々木、増尾東映第二自治会 森井・樋口、南ヶ丘自治会 齋藤・吉田、増尾日立自治会 高橋、あざみ町会 軍司）

土中学校避難所3名（東武なかはら団地自治会 大熊、菅野、増尾町会 藤澤）

柏南高校避難所3名（新柏二丁目第一自治会 河野、第一住宅増尾団地自治会 石川、新柏三丁目自治会 大住）

柏市5名（危機管理部防災安全課 増田・西山、教育委員会教育政策課 平川、市民活動支援課 江幡、増尾近隣センター 高田）

増尾地域ふるさと協議会4名（青柳・志水・間宮・山下）

光ヶ丘地域ふるさと協議会1名（東中新宿町会 早川）

配布資料：防犯防災部資料 <https://www.masuofurusato.com/bouhan/bunsyo/230708-1.pdf>

柏市資料1（災害時用公衆電話）<https://www.masuofurusato.com/bouhan/bunsyo/230708-2.pdf>

柏市資料2（今年度からの主な変更点）<https://www.masuofurusato.com/bouhan/bunsyo/230708-3.pdf>

参考HP：柏市地域防災計画 <https://www.city.kashiwa.lg.jp/documents/45/honpen.pdf>

宇都宮市防災地域活動補償制度 <https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/anshin/bosai/1028246.html>

（ふるさと協議会 志水） 今回は、新しく避難所運営委員になった方も大勢おられますので、お名前と所属だけ自己紹介をお願いいたします。

（ふるさと協議会 志水）

（参加者自己紹介の内容については省略）

開会にあたりまして、増尾近隣センターの高田センター長よりご挨拶をよろしくお願いいたします。

（近隣センター 高田） 今日の意見交換会は、大規模災害時に避難所として指定されています各学校の避難所運営委員会の皆さんと災害時に連携が必要となる行政との意見交換会ということで、私は昨年に引き続き2回目の参加となります。有事の際は近隣センターが地区災害対策本部になり、避難所運営担当の職員を一部の避難所に派遣する体制が作られています。ここ増尾の地区対策本部では、毎年9月下旬に、指名された職員を大規模災害時の初動対応を確認するために招集して会議を開いております。本日の意見交換会では、各避難所ごとのご事情、課題やご要望などもお伺いできればと思っておりますので、よろしくお申し上げます。

（ふるさと協議会 青柳会長） 増尾地域ふるさと協議会は、柏市のふるさと協議会の中でも先陣を切っており、5年前の大規模避難訓練とか新しい体制の避難所訓練とか、様々な形で活動を行っています。意見交換を通じて、行政と避難所の考え方の違いを修正しながら、災害のない町作りを目指して、皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思います。

（ふるさと協議会 志水） 令和4年度の会議においては、行政と情報伝達の経路及びやり方について3時間20分にわたる議論を重ねています。今回は、柏市から昨年の8月くらいから各避難所に設置をされています防災倉庫の運用について、備蓄品の内容を含めて明確になっていない部分を取り上げたいと思っています。あとは、昨年の会議の中で令和4年度中にデジタル化を図るとしておりました防災無線システムの進捗状況についても確認したいと思っています。あと、避難所と災害対策本部との情報連携について、今回は教育委員会からも参加いただいておりますが、高田センター長も言っていたように、市の職員と教育委員会の方が主力になるかと思いますが、昨年あった不安点が改善されているのかを確認したいと思います。

一番目は、防災倉庫の運用。現在、防災倉庫が各避難所に設置されています。別紙①は、柏市が公開している2020年7月22日の避難所運営マニュアルに記載されている災害備蓄品の一覧です。別紙②-1から3は、柏南高校で今年の1月に防災倉庫の棚卸をした際の備蓄品一覧ですが、その中で柏市から備品として入れられているものが、備考欄に「柏市防災」と記載しているものです。コロナ対策としてかなりの備品が防災倉庫に入っており、防災倉庫内の紙には品名が記載されているのですが、マニュアルの一覧には記載されていないので、避難所運営委員には、どんな備品が追加になっているのかについては伝わっていません。今後はどのように対応いただけるのかをお聞きしたい。



それ以外に、柏南高校に関しては、避難所運営委員会独自で買っているものと増尾ふるさと協議会から各避難所に配布しているものを、2～3ページ目に記載しています。これらは柏市のホームページには載せなくても良いのですが、柏市からの備品については正確なものを記載して欲しいと思います。これらの情報メンテナンスについてはいかがですか。

(柏市防災安全課 増田)	一覧に関しては、運営マニュアルの見直しの時に追加するようにしたいと思います。
(ふるさと協議会 志水)	柏市地域防災計画のほうには柏市全体の数量の一覧はあったのですが、避難所別もありましたでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	運営マニュアルでは更新できていなかったかもしれませんが、防災計画の「震－64ページ」に指定避難所の備蓄物資を記載しており、毎年更新するようにしています。
(ふるさと協議会 志水)	それから、太陽パネルとかポータブル電源を増尾西小学校に入れたという話もございますが、他の避難所に対しての扱いはどのようになるでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	<p>防災に関する今年の主な変更点について、資料にまとめてみましたのでお配りします。</p> <p>まず、迅速な避難所開設のために、体育館の鍵を小型倉庫の中にあるダイヤル式キーボックスに保管しました。小型倉庫を設置していないところについては、体育館の入口の所にボックスを設置させていただいて格納しています。これは、職員の勤務時間以外に災害が発生した時、今までは教育委員会まで行って鍵を持ってきて開けるか、学校の先生が開けるという形でしたが、学校の先生も近くに住んでいるとは限りませんし、地域の方が持っている場合はすぐ開くのですがそういう地域ばかりではないので、学校の倉庫の中のキーボックスに体育館の鍵を保管することにいたしております。柏南高校につきましては、まだ増尾近隣センターに鍵があるのですが、今月中には学校のキーボックスの中に格納したいと思っています。</p> <p>次に、ソーラーパネルの件になりますが、資料の写真のようなものを配備させていただいており、各避難所に蓄電池と充電用ソーラーパネルを4台ずつ配置しております。基本的には、スマホや携帯の充電などができるものを考えていますが、それ以外にも扇風機やパソコンなども動かすことができますので、避難所の必要に応じて使っていただきたいと思っております。ソーラーパネルについては6時間から8時間程度で満充電できるようになっております。</p> <p>また、災害用公衆電話というものを市内の小中学校に設置いたしました。NTTでは、今まであった緑の公衆電話などを撤去しており、無くなっていると思いますが、NTTと柏市が覚書を交わしまして、NTTに各避難所に少しずつ公衆電話を設置してもらいという事業を進めています。費用の関係でまだ全避難所というわけではないのですが、今のところ市内の小中学校には設置しています。増尾だと、県立高校や近隣センターではまだ工事をしていませんが、今後、設置してもらうようにNTTと工事の協議を進めていく予定です。</p> <p>災害用公衆電話がどういうものかという、皆さんがイメージしているような緑の大きなものではなく、事務室にあるような小さな電話です。災害用公衆電話は災害時だけに使ってもらうもので、回線工事が終わった小中学校には8月中には配り終えたいと思っており、小型倉庫の中や避難所初動グッズがあるような部屋に置かせてもらう予定です。電話は無料で使えるもので、停電時にも普通の電話と同じように使用可能です。災害時には普通の電話よりも優先でつながる回線となっていますが、発信専用で、着信はできません。こちらは各避難所に置かせてもらっており、各避難所の体育館の入口に電話差込口であるモジュージャックを設置しており、そこに「災害用電話」というラベルを貼っています。そこに、電話と同じようにケーブルを差し込むだけでつながるようになっています。</p> <p>避難所運営時に本部との連絡に災害用公衆電話を使用することについては、災害時に皆さんが体育館を開けたとしても学校の先生が到着していない場合、職員室の鍵が開いていないと連絡の手段が確保できないということが課題だったのですが、災害用電話は2台配置しますので、職員室が開いていないような時には、1台を本部との連絡用に使用いただいても大丈夫ということにしています。現状のマニュアルは簡単につくったものですので、今後、皆さんが訓練などを行う中でご意見がございましたら、マニュアルの内容に反映させていただきたいと思っておりますので、その都度教えていただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>最後に、資料裏面にある防災関係事業の主な変更点についてですが、避難所の無線を9月からIP無線に入れ替える予定で、現在、マニュアルを作成中です。8月中に配備して使い方を説明した上で、9月1日から使用できるようにいたします。無線の変更後は、アプリを使って、写真を送ったりチャット機能を使ったりできるようになります。これまでの無線では聞き逃すともう一度言ってもらわないと確認できなかったのですが、音声データが残っていますので、ボタンを押すと後で再生して確認できるような機能も付いています。</p> <p>現状では市役所内だけのシステムなのですが、情報共有システムというものを4月から導入しました。6月2日に柏市内で大雨が来たときに使用してみたのですが、冠水状況などについて、地図上で職員同士で被害情報の共有を図ることが可能となっています。今後は避難所の開設などにも使えるようにしたいと思っておりますが、現段階では柏市の職員で使い方を試しているという段階です。</p>
(ふるさと協議会 志水)	今の説明についてご質問などがあればどうぞ。
(中原中避難所 正木)	確認なのですが、災害用公衆電話は電源は必要としないのですね。

(柏市防災安全課 増田)	ジャックの中に電源が入っていますので、停電時でも使えます。
(中原中避難所 中井)	避難所は、全てダイヤル式キーボックスに変更したということでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	高校に関しては、まだ近隣センターに鍵があるところもありますが、小中学校は、ほぼ変更が終わっています。
(中原中避難所 中井)	説明を聞き逃したのかもしれませんが、ソーラーパネル付き蓄電池は良いと思うのですが、これも各避難所に設置済みでしたか。
(柏市防災安全課 増田)	これも、各避難所の小型倉庫に4台ずつの設置を完了しています。
(中原中避難所 中井)	公衆電話についてですが、災害時に避難所と本部との公的な連絡以外でも、避難者個人が誰かに私的な連絡を取りたいという場合でも使える電話ということですか。
(柏市防災安全課 増田)	そうです。普通の電話と同じだと考えて結構です。先生が来て、職員室の電話が使えるようになれば必要ないかもしれませんが、避難所には2台入れていますので、1台を避難所運営用に使い、もう1台を避難者のために使うということも可能です。
(中原中避難所 中井)	避難所の多くは体育館になると思うのですが、体育館の入口には災害時用公衆電話のモジュージャックがついているということでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	高校はまだ終わっていませんが、小中学校に関しては、体育館の入口に既に設置済みです。
(土小学校避難所 平川)	ダイヤル式のキーボックスですが、ボックス番号の管理について学校と話をしたのですが、どのように安全な番号管理をするのかということについて、学校もまだはっきりと認識していないという事でしたが、その辺はどうなのでしょう。
(柏市防災安全課 増田)	最初にボックスを配置した時には、学校の先生に番号をお伝えして、町会長とか避難所運営委員の方とか信頼できる人には伝えていただくようにしているのですが、学校の先生が替わったりすると伝達されていないこともあります。今回も中原小学校で先生が入れ替わりましたので、私もから改めて番号をお伝えするのですが、市の方針としては、学校の先生と地域で避難所を運営する皆さんには、番号をお伝えするという事になっています。
(中原中避難所 正木)	中原小学校には避難所運営委員会はないのですが、中原中学校の避難所運営委員会のメンバーが番号を確認しています。
(増尾西小学校 避難所 塚本)	今日の議題の最初にあった、防災倉庫の立ち位置について確認したいのですが、増西で避難訓練をやったときに、避難物資を市の防災倉庫に入れようとしたら、市から拒絶されました。防災倉庫には市の防災備品を入れるので、スペースがあってもそこにはこれから入るので、市の備蓄以外は入れないでほしいと言われていましたが、その辺をもう一度確認したい。それと、倉庫に入っている備品の管理責任は誰にあり、棚卸などはどうしているのかも確認したい。三番目に、そこに備品が追加されたことについて、我々避難所運営委員には通知はありません。それは、ホームページを見ろということなのかを確認したい。
(柏市防災安全課 増田)	倉庫の中に町会の備品を入れたいということについては、いろんな地域の方から伺っており、内部でも検討中なのですが、市全体的にスペースが不足している状況です。避難所の倉庫に大型倉庫からの追加物資がほぼ入らないという状況で、新たな倉庫を新築するか、探さないといけない状態です。今年度、小型倉庫にパーティションを10基ほど増やしていく計画があり、また、ペット避難のための初動グッズを入れる計画もあります。場所によっては倉庫がいっぱいになってしまいますので、今のところは、町会の方から物資搬入の要望があってもお断りしている状況です。活発に活動している地域では必要な備品が増えることになりますので、できるだけ置いておけるスペースを用意したいとは思っており、内部で何とかできないかを検討しているところです。現状では、物資を追加した場合、地域防災計画などのマニュアル更新でしかお伝え出来ない状態が課題かと思っており、防災安全課としても、今後、避難所運営委員会への連絡ツールなどを検討する必要がありますと考えております。備品管理については、防災安全課の中で元消防の職員の方が年2回ほどまわってチェックしております。現在は小学校をまわっている段階ですが、備品の数を数えて、不足している場合は追加したり、故障しているものがないかを確認し、故障している場合は大型倉庫にあるものと入れ替えたりしています。備品管理につきましては市に責任がありますので、賞味期限や使用できるのか、数が足りているのかなどについて、半年に1回チェックしています。



(中原中避難所 中井) 塚本さんが言った点は我々も感じており、加賀の場合は、二丁目を中心に光ヶ丘ふる協にも関わっているのですが、ここで活動する中で光ヶ丘中学校の先生方とも話をしています。避難所を運営する立場としては、避難してきた人に必要だと思う最低限の小物があるわけですが、市の防災倉庫には置けない。そこで、先生方に配慮していただいて、体育館の物置の一角に段ボールを置いて、そこにとりあえず小物を入れておくことで対応しようとしています。あと、棚卸という点では、学校と一体となって棚卸をやったほうが良いだろうということで、学校の職員と避難する対象の町自治会のメンバーが、来週、一緒に棚卸をすることになっています。

(中原中避難所 正木) 中原中学校の例をお話ししたいと思います。防犯防災部からいただいたもののような、地域が持っている備品の保管場所については、中学校の防災備品を入れている倉庫に置かせていただいています。ここのスペースが結構残っているので、地域で必要な備品を追加する場合には、中学校の保管場所に置かせていただこうかなと思っています。

(ふるさと協議会 志水) 実は、別紙3に記載していますが、主にコロナ対策用の備品として小ケースで2つか3つ分程度を、増尾ふるさと協議会から各避難所に配布する予定なのですが、5避難所のうち実際は3避難所にしか配布できていません。土小、土中に関しては、避難所運営委員会の問題もあるのですが、どこに入れるのか決まっておらず、間宮さんの倉庫に眠っています。柏市の防災倉庫に入れられないのには事情があるとはいえ、場所がないから入れられないというのは大きな問題ではないでしょうか。これは、増尾だけでなく他のふる協でも問題として出ていると思います。

市としても、倉庫を大きくするとかして、活動に必要なものは置けるようにして欲しい。増尾西では、防災倉庫に入れられない為、隣にあるふるさと会館に保管するという状態になっていますが、いざ災害が起こったとき、どこに何が入っているのかわからないという状況になると非常にまずい。原則として市の防災倉庫は使えないということになっているのですが、ある程度融通を利かせて、必要なものは置かせていただきたいと思っています。

あともう一点は、柏市から配布されているものに関しては、基本的に災害訓練では使えません。柏市が配布しているいろんなものに関しては、訓練で使ったために実際に災害が起こったときに使えないということになれば本末転倒だということで、柏市が配布しているものに関しては訓練では使えないというのが基本的な考え方であり、訓練するための用品は別途そろえておく必要があります。ふる協からは、その点を考慮しながら備品の配布を行っているのですが、市としても、その辺のことを考慮いただいて、訓練で使っていいものについて考えていただきたい。

(中原中避難所 正木) 柏市の防災備品についてですが、中原中学校避難所では、9月に避難所開設手順訓練として、受付を作ったり、防災倉庫の中のものの一部取り出して組み立てたり配置したりする訓練をやろうと思っています。それについて、防災安全課を訪問して、柏市の防災備品を使わせていただきたいということでお願いに参りました。その訓練には、防災安全課から増田さんと西山さんにも来ていただいてご指導いただくことでご了解を得ています。そういう意味で、各避難所の備品についても全く使ってはいけないということではなくて、ご了解が取れば使わせていただけるわけです。ということで、そのあたりは防災安全課とコミュニケーションを取りながらやっていったらどうかと思っています。

(柏市防災安全課 増田) 消耗品以外は、使っていただいても大丈夫です。ローソクなどの一度使えば無くなってしまふようなものや、受付の用紙なども一度書いてしまうと使えませんので、使用は控えていただきたいのですが、消耗品以外の備品で一度倉庫から出しても、しまっただけならば影響のないものについては、使っていただいて結構です。

(中原中避難所 正木) 言葉足らずでしたが、お願いに伺ったときに、消耗品は使う予定がございませんということで、お話ししております。

(柏南高校避難所 河野) 私たちも、昨年、避難所開設訓練を行っており、その時はビニールとか受付のポールとかを使わせてもらったのですが、手袋とかの消耗品については市のものを使わずに、別に買ったものを使っています。

なお、別紙①にある、市から倉庫に配備されている備品リストの5番と8番に発電機とガソリンというのがございますが、別紙②にあるように、今年1月に倉庫の棚卸を実施した際には、ガソリン携行缶はございませんでした。

発電機はあったのですが、当然ガソリンがないので動かないし、どうも動く感じのものではなく、何のためにあるのかと思いました。さっき、年に2回の棚卸とおっしゃっていましたが、停電すると発電関係は全然ダメということになってしまふようですが、このあたりのことはいかがでしょうか。



(柏市防災安全課 増田) 市の備蓄品の発電機には2種類ありまして、ガスで動くエネポと言われるものと、ガソリンで動くものがございます。カセット式のガスで動く発電機の場合はガソリンの携行缶は置いてありませんが、ガソリンで動く発電機を置いている場合でも、消防法の関係で小型倉庫にガソリンを置くことができず、大型倉庫から持っていくということになっております。また、ガソリンを入れて点検した後は抜くようにしていますが、一応動くかとは思いますが。ただし、ガソリン式の発電機の場合はガソリンが届くまで使えませんので、市としても入れ替えの時にはガス式の発電機に入れ替えることを進めています。

(柏南高校避難所 河野) 5年ほど前に市の講習会に出た時に、徐々にエネポに変えていくということをお聞きして、うちの自治会の備蓄倉庫に入れているのはエネポ2台にしています。お聞きしてから5年以上たっていると思いますが、どのくらいのスパンで変えていく予定ですか。

(柏市防災安全課 増田)	昨年はエネポを15台か20台買ったのですが、まだ30台くらいは必要かもしれません。ガソリン式のものには新たに買っていないものの、壊れた場合にエネポに入れ替えるということにしており、予算の関係もあって、いつ入れ替えが完了するかは明確には言えないのですが、早めには入れたいと思います。
(柏南高校避難所 河野)	柏南高校にガソリン式の発電機があるということは、ガソリンを入れれば動くということですね。
(柏市防災安全課 増田)	そういうことです。使えることは確認しております。
(中原中避難所 正木)	発電機ということでもう一度備品リストを見たのですが、発電機用のオイルが入っていないですね。エネポの場合も、発電機用オイルが無いと動かないのですが、オイルはあるのでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	エネポの発電機にオイルは満タンにはしています。
(中原中避難所 正木)	満タンにしていると、故障の原因になります。普通は、オイル缶を買って置いておきます。訓練の度に入れて、終われば抜いておく必要があります。そうしないと、不純物が沈殿して詰まる可能性があるというふうに指導を受けており、我々はそうしています。備品のなかで発電機が一番故障しやすいので、オイルを満タンにしているということについては、一度確認していただいたほうが良いと思います。
(柏市防災安全課 増田)	災害時に備えて、ガスを入れればいつでも使えるようにオイルを入れているのですが、確かに、エネポも故障しているものが多いようです。オイル缶自体は大型倉庫にありますので、運用を検討させていただきます。
(ふるさと協議会 志水)	現在、五つの避難所がありますが、発電機がどうなっているか確認しているところはありますか。
(中原中避難所 中井)	正木さんが言ったとおりで、加賀町会で夏祭りに発電機を使った際も、必ずオイルを抜くようにしています。それをやらないと発電機が動かなくなってしまいます。その認識をしっかりと持ていただくことが大切です。あと、確認なのですが、リストにある発電機や投光器、非接触型温度計などというものも訓練で使いたいのですが、これらの備品は使っているのでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	使っていただいて大丈夫です。
(ふるさと協議会 志水)	リストでいうと、アルファ米や飲料水、消毒液などの消耗品は基本的に使ってはダメで、使っても減るものでない場合には使ってもいいということです。今、エネポが入っている避難所はありますか。増西はどうでしょう。
(増尾西小学校 塚本)	入っていません。ガソリンです。
(ふるさと協議会 志水)	中原はいかがですか。
(中原中避難所 正木)	たぶんエネポになっていたと思うのですが、確認が必要です。
(光ヶ丘ふる協 早川)	昨日か一昨日、確認してくれた写真を見たのですが、ガスボンベが二つ付いていましたから、光中には入っていると思います。
(ふるさと協議会 志水)	土小はどうですか。
(土小避難所 平川)	大型倉庫に入っているのはガソリンで、あと、災害用のトイレのところに置いてある発電機はエネポです。
(ふるさと協議会 志水)	土小は、同じ避難所でもちょっと特殊で、普通の避難所とは違って柏市の拠点にもなっていますので、大型倉庫があって、土小用とは別に備蓄品を保管しているという体制になっています。発電機についても避難所としての土小専用のものと、大型倉庫に備蓄しているものの2種類ある可能性があります。不足したときには、もしかすると土小の大型倉庫に入っているものを各避難所に持っていくことになるかもしれません。
(中原中避難所 中井)	ということは、言い方を変えると、この辺一帯のための大きな主力倉庫があるような感じでしょうか。
(ふるさと協議会 志水)	そこまではいかないのですが、近いものがあるということですね。
(柏市防災安全課 増田)	大型倉庫は柏市に45か所ありまして、近い地域の方がいちばん使うのですが、全市民のものということで置いてあるものです。増尾地域の倉庫は増尾周辺の皆さんに使っていただくようになり、増尾地域ですと、土小と名戸ヶ谷小学校にも大型倉庫として置いてあるのですが、名戸ヶ谷小は教室の中に置いてあって、教室を返して欲しいと言われていまして、別のところに置く可能性があります。
(土小避難所 平川)	土小の大型倉庫の中の備蓄品一覧というものはないのですよね。大型倉庫の中を確認したのですが、備品がぎっしり積まれていて、一覧が無いと何が入っているのかわかりません。コンロや毛布が数多くあるのですが、一覧がどこにもなくて、見るとしてもチェックのしようがない状況です。

(近隣センター 高田)	土小の大型倉庫のほうは、避難所運営委員が使わない前提ではないでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	原則はそうなのですが、災害時に増尾近隣センターの地区災害対策本部にいる柏市の職員が先に行った場合、倉庫を開けて地区に必要な人がいれば渡しても良いことになっており、出した分を把握して本部に報告するという事を考えています。
(近隣センター 高田)	物資の出し入れの管理は、地区災害対策本部の物資担当の者が行うということになっているわけですね。
(柏市防災安全課 増田)	大型倉庫には物資を管理する担当職員が行って開けることになっていますので、何か足りない物資がある場合は、職員に言っていただければお渡しできます。

(土小避難所
高橋)

先ほどから、実際に災害が起きた時には使って良くとも、訓練をやるときには使ってダメという話が出ていますが、考えてみると災害で必要な物資がどこにあって、どういう使い方をすれば良いのかを確認するのが訓練だと思います。土小では、8月に子供たちのお泊り会というのがあって、生徒を泊ませながら避難訓練も一緒にやろうという内容で動く予定なのですが、その時に、使って良いものと使っちゃダメなものがあると、訓練がやりにくいと思うのですが、その点はいかがですか。



(柏市防災安全課
増田)

消耗品以外であれば使っていただいて構いません。土小の大型倉庫は市の職員が開けるのですが、中を見て使いたいものがあれば、職員が貸し出すこともいたします。

(柏南高校避難所
河野)

防災倉庫の中身の話ですが、市には、どこの学校の倉庫に何が入っているのかという一覧はあるのですか。

(柏市防災安全課
増田)

あります。

(柏南高校避難所
河野)

柏南では、我々が避難所マニュアルの中で作ったものをベースに1月に棚卸をしているのですが、市で作っている、どこの避難所に何がいくつあるという一覧を全避難所に配っていただけませんか。使うかどうかは別にして、名戸ヶ谷と土小にある拠点倉庫に何が入っているかという情報は、これから避難所として揃えていく備品の検討の際に参考になるものですので、我々としても把握しておいたほうが良いと思います。配布を早急にお願いしたいと思うのですが、避難所の皆さんはいかがですか。

(柏市防災安全課
増田)

公開できないものではありませんので、何かしらの方法でお渡しできます。

(増尾西小学校
避難所 塚本)

備蓄品についての考え方に、市と我々との間に隔りがあるような気がして仕方がありません。市が自分のものだと思込み過ぎていて我々に開示がないのでは、というような、非常にひねくれた考えをもってしまいます。我々も避難所マニュアルの一番後ろには、増尾西小学校の柏市備蓄倉庫に入っている備品一覧をつけていますが、これは、我々が柏市の倉庫にどういうものが入っているかを知っておく必要があるだろうという理由からです。棚卸の件で再質問になりますが、さきほど、光ヶ丘中学校で先生と住民の立会いの下で棚卸をするという話がありました。一方で、市のほうでも半年に一度、市の職員が棚卸をしているという。柏市とは別に光ヶ丘中学校でやろうとしている棚卸について、柏市としては是とするのか非とするのか、どういう見解をもっておられますか。

(柏市防災安全課
増田)

学校の先生としても把握しておきたいということですので、もしやっただけなのであれば、見ていただいて構いません。場合によっては私たちも一緒に立ち会って説明をさせていただきます。

(増尾西小学校
避難所 塚本)

そうおっしゃいますが、市のほうで半年に一度棚卸をやるのであれば、その時に、学校と地域住民も立ち会って一緒にやれば一度で済むはずなんです。市は市でやりますが、学校でやっても結構ですよ、というのでは、我々としても、使っているものかどうか、常に疑心暗鬼になってしまいます。もう少しオープンにして、同じ情報を共有するという方法でやったほうが良いのではないのでしょうか。倉庫に新たに備品を追加することについても、ホームページで確認するというだけでなく、備品を納入するときには少なくとも学校の先生は立ち会い、可能であれば地域住民も立ち会って、新たに入ったものを確認できるようにしていただかないと、何が入っているのかさっぱりわからなくなってしまいます。その辺のことをご検討いただけませんか。

(中原中避難所
中井)

なお、今回の光中の先生方と町会と一緒に倉庫の棚卸をするというというのは、勝手にやっているわけではなく、防災安全課に相談の上でやっているということだけは申し上げておきます。

(中原中避難所
正木)

今度、中原中学校で避難所開設手順訓練をやるのですが、訓練では、防災倉庫の中の備品の棚卸も行う予定です。棚卸では、全てを確認するのではなく、主要なものを目で点検して、市の職員さんにもきていただいて使い方の指導を受ける予定にしています。このように、リストではなく目で点検することが重要ではないかと思っています。

(柏市防災安全課 増田)	倉庫の点検には、消防の職員と防災安全課の職員で、市内109か所の避難所に近隣センターの体育館を加えて112か所と45か所の大型倉庫、合計150か所を年2回ずつ回ります。年に300回程度回らないといけないのですが、その日の天候とか回るルートとかによって、一日に回れる数が前後しますし、何日までに終わらせるという期限があります。学校の先生には事前に連絡をとってはいるのですが、その都度、地域の方と調整を行って棚卸を行うというのは難しいかもしれません。確認が必要な場合は、事前に言っていただければ、防災部の職員と一緒に行って確認をさせていただくことは可能です。
(ふるさと協議会 志水)	今後とも、棚卸はどうしても必要になるかと思いますが、その時には、なるべく防災安全課に声をかけて、一緒に立ち会ってもらって実施するという方向で行きたいと思いますので、よろしくをお願いします。 次に、今後の避難所への備蓄品の配備計画についてお聞きます。先ほど、ソーラーパネル付き蓄電池のご説明をいただいたのですが、今後の予定はいかがでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	今後の予定としては、小学校だと職員室、近隣センターでは事務室にある無線機を、9月の頭に新しいものに交換し、全避難所にも配置します。パーティションは、10基を小型倉庫の初動用備蓄品に入れる予定で、購入契約を今年度中には行いたいと思います。あと、中学校単位でお願いしているペット避難を実施するために必要なグッズをそろえている段階で、これも本年度中には配備する予定です。
(ふるさと協議会 志水)	パーティションは現在20入っていますので、10増えることで30基になると思います。どういう時にパーティションを使うのかということについては、一般の対応では使わずに、要配慮者に対してベッドを含めて使って行こうということだったのですが、今後も順次増やしていく予定はあるのでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	今回増やす10基についても倉庫に入らない避難所が多くて、まずは大型倉庫に置いておく可能性もあるのですが、各避難所に10増やす前提で、3000のパーティションは購入する予定です。今後も、どこに保管するのかについて検討の必要はあるものの、増やしていく方針です。
(ふるさと協議会 志水)	ペット避難に関して、初期の備品を入れるということですが、避難所としてペットをどう扱うのかということについては、あまり明確になっていません。国の方針もあって、ペット同行避難ということは視野に入れているのですが、前回2月にやった自治会と行政の連絡会議でも話題になったように、ペット避難をどうするかについて住民に対して十分に告知されていない中で、なぜ早めに先行して準備するのかよくわからない。避難所での体制ができてから、必要なものを入れようという事かと思うのですが、そのあたりはいかがでしょうか。
(柏市防災安全課 増田)	そうですね、ペットに関しては、糞尿の汚れとか鳴き声の問題もあるので、備品を配備するときには、マニュアル等を作成して基本的な実施方法などを告知する予定です。学校などを回って意見をお聞きすると実際には難しい問題もあるのですが、獣医師会や動物ふれあいセンターと相談しながら、迷惑をかけない方法を検討しています。
(ふるさと協議会 志水)	柏南高校では、ペット避難場所として結構広いスペースを確保しているようなのですが、他のところの進捗状況はいかがでしょうか。
(中原中避難所 正木)	中原中学校は、市のほうからペットの避難スペース確保についてのお話があったということは聞いており、スペース確保の目途はつけたそうです。
(増尾西小学校 山口)	前回の2月の意見交換会の時に、ペット避難所のスペースを確保できる避難所を選んでいくことを進めて、ホームページで公開するというのを耳にしているのですが、それについては間違いないですか。
(柏市防災安全課 増田)	そうですね。公開については予定しております。現在中学校へ説明に回らせていただいているのですが、小学校にも増やすという方針になっておりまして、8月中頃から下旬にかけて、小学校へ防災安全課の職員を派遣して相談に回ろうかと思っており、最終的には8月下旬から9月に公開する予定になっています。(補足：ガイドラインは9月1日に公開しました。中学校分と近隣センター分のみで小学校はまだ記載されていません。)
(増尾西小学校 山口)	市役所のお話を聞いていますと「検討する」というお話が多いのですが、私は、検討するというのはやらないと同じことだと思っています。期限を決めて努力した上で事情があって延期するというのであればよいのですが、意見交換会の度に同じような課題が出ており、日にちが経過しても方針がなかなか決まらず、不安要素が残るという印象があります。ペットのこともについても、公開がいつになるのかということで質問させていただきました。
(中原中避難所 中井)	ペットというのは、飼っている方にとっては家族のようなものですので、対策は重要なことかとは思いますが、この一角は全部ネコで、この一角はイヌだけというようなことが、現実には即しているのかなという思いがあります。実際には、飼い主とペットが体育館内と校庭の隅に分かれるようなことさえ、難しくなるのではという疑問があります。そういう人は自動車で来るようにして、自動車の中でペットと一緒に寝てくださいというような現実には即した対応でないと、ペット問題は簡単に解決できないような危惧を持っています。
(柏市防災安全課 増田)	ごもっともなご意見だと思います。今のところ、ペットと避難する場合、ペットは屋外になる予定なのですが、できれば飼い主の方と室内で一緒に避難できないかと検討しています。熊本での地震の場合も、ペットがいるから車の中に避難するという方が多かったようですので、そのような現実には即した方法を検討したいと思います。



- (柏南高校避難所 河野) ここでは、何年前かにペット避難の訓練をやったことがありますよね。その時に言われたのは、ケージに入れておくことをペットに慣らせておくのが大変重要だということでした。動物の好き嫌いではなく、病気とかアレルギーの問題もありますので、そのあたりのことを周知していただきたいと思います。
- (柏市防災安全課 増田) ケージを持って避難していただくということは、作成中のマニュアルにも、前提として記載したいと思います。また、避難所にケージを用意しておくことも大切なことかと考えています。
- (ふるさと協議会 志水) 4年位前に、実際に飼い主さんが犬を15匹くらい連れてきた上で、動物愛護協会の獣医さんを講師にしたペット同行避難の訓練を、ここの体育館でやっています。ペット同行避難で一番重要なのは、普段から飼い主さんがどういう心構えでいるか、どういう準備をしているかということであり、訓練も何もしないで、災害が起きたからペットを避難所に連れてこられても困るわけです。ケージに入れたら大人しくさせることを普段から心がけて飼育しておいてくださいということ、飼い主さんに十分に周知せずにペット同行避難を実施することについて、多くの避難所は二の足を踏んでいました。その時は、国からはっきりした指針も出ていない状況での訓練でしたので、柏市は、ペットを受け入れるかどうかは避難所の判断で決めて欲しいということでした。そういうことで進んでいますので、ペット同行避難を考える上では、避難の方法について飼い主さんに十分に知っておいていただくということが重要だと思っています。
- (中原中避難所 正木) 私の意見なのですが、市のマニュアルでは、細かなルールというものはあまり作らないでいただきたい。というのも、ペットについては、ペットの種類とか、その時の状況でいろんなケースが想定されますので、対応については、実際に避難所に対応することになる運営委員会に任せていただければよいと思っています。あまり細かく決めてられしまうと、逆にやりづらくなることを懸念しています。
- (柏市防災安全課 増田) マニュアルについては、あまりガチガチなものにする予定はありません。増尾地域は避難所の運営に対する考え方が進んでおり、ペット避難についてもいろいろ考えていただけるのですが、他の地域ではそこまで考えていない避難所が多いのが現実ですので、ガイドラインとしてある程度の方向性を示す程度にしておきたいと思います。
- (ふるさと協議会 志水) 地域によって事情が異なりますので、避難所ごとに対応方法を考えるというのは当然のことで、そういうことでよろしいかと思います。ペット避難については、自治会等で飼い主さんを含めて啓蒙していただきたいと思っています。次に③の避難所と災害対策本部との情報連携について、何かございますか。
- (教育委員会教育政策課 平川) 現状では昨年度と運用方法は異なってはいないのですが、教育委員会が昨年度までは学校教育部と生涯学習部の2部しかなかったのが、教育総務部が加わって3部となりました。基本的に、県立高校の避難所の運営は生涯学習部の担当となっており、市立の小学校と中学校については教育総務部と学校教育部の2部で開設運営を行うことになっています。配備職員につきましては、中学校区で2名ということで、昨年度と変わらない形になっており、配備された職員が中学校区にある小学校も含めて、順々に避難所開設を行っていくような形になっております。学校教育部と教育総務部がそれぞれこの避難所を見るかということですが、まず、学校教育部が北部と中央にある地域の学校を見ることになっており、南部と東部につきましては教育総務部で見るという役割分担をさせていただいています。現状はこういうことですが、教育委員会といっても人数が限られていますので、今後は開設職員の配備態勢というのをもう少し手厚くできないかということを検討しております。
- (ふるさと協議会 志水) ということで、中学校区に2名ということで、増尾で言うと4名が順次避難所を回るといっていいのでしょうか。前回問題になったのは、災害対策本部とやり取りをするのは教育委員会がメインになるということで、巡回していると手が回らなくなるのが不安だという話がありました。今回、体制が変わったということで、そのあたりを十分にご検討いただいで、連絡網を含めて新たに構築していただければと思います。
- (中原中避難所 中井) 机上ではそういうこともできるかと思いますが、現実にはどういう派遣体制になりますか。災害時には遠くに住んでいる方が来れるわけがありませんので、例えば増尾地域には近いところに住んでいる方を派遣するとか、どういう基本的な考え方になっていきますか。
- (教育委員会教育政策課 平川) おっしゃる通り、迅速に避難所を開設するにあたっては、近隣に住む職員を配備することが重要だと考えています。教育委員会も各中学校区にどの職員が行くのかということは、平常時から決めておきまして、可能な限りということにはなりますが、近隣に住む職員を充てるようなことで、対応をさせていただくようにしております。
- (ふるさと協議会 志水) その他に教育委員会に対するご質問はございますか。
- (中原中避難所 中井) 教育委員会に対するものではないのですが、増尾ふる協には避難所が5カ所あって、それらは私たちが運営を行うのですが、この近隣センターも避難所になっています。震度5強程度の地震があった場合、避難所が開設される前でも、逃げたいという人が近隣センターに来る可能性もあると思います。近隣センターの避難所については、誰がどういう形で避難所運営をするようになるのかがよくわからないので、教えてもらえますか。
- (近隣センター 高田) 地区災害対策本部の中で避難所運営担当という者が指名されておりまして、その中の2名がこの近隣センターの避難所運営をすることになっています。基本的に体育室が避難場所になりまして、この会議室はペット避難所用の場所と決められております。



- (中原中避難所
中井) それは、町会全体で共有している情報だったでしょうか。
- (ふるさと協議会
志水) これに関しては、以前、お話ししています。5つの避難所以外の指定避難所である近隣センターについてはどうなのかということにつき、基本的に近隣センターの避難所は行政担当者が立ち上げて運営することになっており、もし人手が足りなかったら、近隣の町自治会に応援を依頼するというところで終わっています。
- では、次に④避難所運営委員会の位置付けについて。
- 令和4年度に21のふるさと協議会に対して防災安全課でアンケートを行っています。市内に109の避難所があるうち68避難所で運営委員会が設置されており、割合で言うと63%になります。ちょっと前まで10とか20とか言っていた運営委員会の数が68になっていますので、急に増えている印象があります。これは5年ほど前から言い続けていることなのですが、任意団体という位置付けの避難所運営委員会を市の認可団体とすることで、活動原資としての補助金支給をして欲しいという思いがあります。市民活動支援課がやっている「プラス10」という助成制度もあるのですが、これはふるさと協議会と町自治会は対象になるものの、避難所運営委員会は対象になりませんので、何かやろうとしてもプラス10は使えません。避難所運営委員会を認可団体とすることによって、基本的にそのような制度も使えるような方向性でもっていききたい。
- あと、保険の問題があります。傷害保険に関しては、町自治会で活動するものに関しては市民傷害保険というようなものがある、活動しているときに事故があれば市のほうの保険が適用される。ところが、避難所運営委員会がやる災害訓練に関しては、訓練中に事故が起きても対象外ですので、市からの補償はありません。訓練を自治会の活動というふうには拡大解釈することもできるのかもしれませんが、厳密に言えば、避難所運営委員会が主催している災害訓練に関して事故が起きても保険は適用されません。その解釈でよろしいでしょうか。
- (柏市防災安全課
増田) 避難訓練の場合は適用されると思います。災害が起こった場合に保険が適用されるかどうかは課題になっていまして、全国的にもまだ進んでいないようなのですが、宇都宮市で、災害時に避難所運営をしている方が怪我をしたり、避難をしてきた方に大きな損害を与えてしまったという場合の保険を導入しているらしくて、柏市でも調査を行っており、可能であれば、次年度以降そのような保険を入れていきたいと思っています。訓練に関しては支援されるということですので、訓練中に怪我をした場合は、市民活動支援課に相談していただければと思います。
- (ふるさと協議会
志水) 市の認可団体にできないかというところが一番の問題なのですが、その点はいかがでしょうか。
- (柏市防災安全課
増田) 認可団体にするということも検討はしていますが、認可団体になるためには色々な規約が必要で大変な部分もあるということで、避難所でも意見が分かれているようです。活動が活発な地域ほど活動資金が欲しいという要望がありますので、良い方法を検討したいと思っています。
- (ふるさと協議会
志水) 東京あたりでは、10年位前から避難所運営委員会は認可団体として補助金をもらって活動しています。それが柏では一向に進まないということで、大きな問題だと思っています。財源が無いということと言われるのですが、自主防災組織には、開設時に10万円と毎年2万円の補助金が出ています。自主防災会は200以上あると思いますので、補助金を1万円に割れば200万を捻出できますので、それを避難所運営委員会に回すことができれば、100か所の避難所運営委員会に2万円の活動補助金を出すことができます。
- 自主防災組織というのはあちこちの町自治会と一緒にやって行くのではなく、各町会単位での運営ですので、あくまでも町会費の中から捻出してもらおうというのが原則だと思いますので、自主防災組織の補助金を削ることで予算を生み出すような柔軟な考え方で、避難所運営委員会にも補助金を出して欲しいと思っています。
- (柏市防災安全課
増田) 財源が問題になっているわけではなく、補助金を出すとなると交付申請や領収書の提出、毎年の報告など、多くの手間が新たに必要になりますので、もらえる補助金の額ともらうために必要な手間を考えて、申請を躊躇してしまうということもあると思います。ただし、避難所運営委員会の運営に財源が必要だということは把握していますので、検討を進めたいと思います。
- (ふるさと協議会
志水) 市が長年にわたって設立を推進してきた避難所運営委員会も、体制作りが進んできたと思うのですが、活動財源を含めて市からのバックアップが薄いと思っています。もう少しスピードを上げた対応をお願いします。
- (中原中避難所
正木) 避難所運営委員会については、財源もさることながら、運営委員会を引っ張っていく後継者が今後大きな問題になっていきます。今も問題になっていますが、次の人がなかなか出てこない。私がお願いしたいのは、市に事業所登録をしてはどうかということです。例えば、フレイルカードを利用したフレイル予防に関する多くの事業所がありますが、そのような事業所が市民活動支援課に登録すると、ホームページに掲載されます。合唱サークルなどいろんなサークルが登録されているのですが、まずはそんな登録をやってみてはどうかと思っています。登録して柏市の中で認知されることで、後継者を生みやすくなるような力が働き、次のステップにいけるように思うのですが、いかがでしょうか。
- (ふるさと協議会
志水) 私は、ちょっと考え方が違います。NPOなどの団体が登録して、プラス10以外からも補助金が出ている場合もあるようですが、それらはあくまでも同好の士が集まっている一般団体であって、地域貢献するための団体とは異なると思います。
- (中原中避難所
正木) 現在、避難所運営委員会はどこにも登録されておらず、ふるさと協議会の中で報告するだけのボランティアのような立場ですので、まずは柏市に何らかの形で登録することから初めてはどうかという趣旨です。

(中原中避難所
中井) 私の認識では、増尾地域というのは柏市の中でも避難所活動が活発な地域ですが、柏市全体として見ると、まだ避難所運営委員会に対する必要性の認識が低いように思います。やはり、市からもっと避難所開設の必要性について強い働きかけをしてもらう必要があると思います。

避難所運営委員会が重要な役割を果たすのは、災害発生後の1日か2日です。その時に、より多くの手伝える人に来てもらい、初期対応ができるようにマニュアル的なものをきちんと作っているのですが、その後は、避難した人がマニュアルを元にして新しい避難所運営委員会を立ち上げることになります。そのように、避難所運営委員会は、災害時の入口としての初期対応を準備する役割が重要だという認識があります。そのときに課題になるのが保険の問題で、例えば、避難をしてもらった体育館で壊れたガラスで怪我をしたような場合に責任を問われる可能性があるために、避難所運営委員をやりたくないという方も結構いるように思うのですが、そのような場合には、市に責任をもった対応をしてもらえるため、運営委員が責任を問われるようなことはないという理解でよろしいでしょうか。

(柏市防災安全課
増田) 千葉県に相談した際に、災害時の保険に入っている自治体が全国にもほとんどない理由を聞いたところ、個人に故意などの重過失が無い限り、災害救助法で全て市が負担することになっているため、保険には入っていないという説明でした。柏市としても、災害時に避難所運営で起こった事故については柏市の責任だと考えているのですが、保険があったほうが安心だというご意見もございますので、検討したいと思います。

(ふるさと協議会
志水) 避難所運営委員会の位置付けについては、柏市にもがんばって条文を作ってもらって、認可団体として補助金が出るような方向でお願いしたい。あと、市民活動支援課のプラス10についての見解はどうでしょうか。

(市民活動支援課
江幡) プラス10に関しては、市民団体に出る補助金になっており、町会とかふるさと協議会ということでは対応できないのですが、以前、柏南高校の避難所でプラス10をとっていただいた際には、柏南高校の避難所を運営するひとつの町会が代表してプラス10に申し込んでいただいたという形になっています。現在でもプラス10は市民団体に対する補助金ということになっていますので、避難所運営委員会に特別に出るということにはなっていません。

それ以外に、市民活動に対する補助金としては、いろいろな形のものがありますので、避難所運営委員会を、ひとつの市民団体という形で登録するような形になった場合には、市民活動支援課が持っている補助金を使っていただくことも可能かとは思っております。この補助金につきましては、先ほどの保険の件も含めて、防災安全課の皆さんと情報交換をさせていただいているところです。

(ふるさと協議会
志水) ありがとうございます。認可団体になるにはまだ時間がかかるかとは思いますが、避難所運営委員会を一般団体として登録するかどうかを含めて、検討していただきたいと思います。

次は、中原中学校避難所と中原小学校避難所の運営について、6月26日に正木さんが防災安全課と確認したようですので、方向性の説明をよろしくお願いいたします。

(中原中避難所
正木) 中原中学校避難所は、4～5年前に増尾地域では5番目の最後にできた避難所運営委員会なのですが、懸案事項として、中原中学校に隣接している中原小学校も指定避難所なのですが、小学校には避難所運営委員会が無いという状況でした。防災に関して小学校側も体制が整っていませんし、地域からも何のコンタクトもとっておらず、懸案事項になっていました。本年度、中原小学校の校長先生も教頭先生も替わって体制が整ったようですので、打ち合わせをさせていただいて、次のような結論になりました。

一つは、中原中学校避難所運営委員会が中原小学校の施設側と共同して、災害時は一体になって運営していきましようということになりました。もう一つは、中原中学校を優先避難所にして、それほど大きな災害でない場合は中原中学校だけを避難所とし、中原小学校に避難してきた人がいれば「中学校に避難してください」と誘導してもらうこととし、規模の大きな災害の場合は、中原小学校でも避難所を開設して避難者を受け入れてもらうことにいたしました。この2点について防災安全課にご相談した結果、それでいいでしょうと承諾をいただいたということです。ですから、中原小学校と中原中学校の避難所は共同で運営することにし、小学校の教頭先生には、中原中学校避難所運営委員会に毎年出いただくことになりました。

(中原中避難所
山口) 市のほうにお聞きしたいのですが、備蓄品については中原小学校の倉庫にあるものも、中学校と同じように使っても良いのでしょうか。

(柏市防災安全課
増田) 共同運用になっていますので、使っていただいて結構です。

(ふるさと協議会
志水) 今、正木委員長からご説明がありましたように、中原中学校と中原小学校に関してはそういう形で進んでいくということで防災安全課の了承もとれています。今後はそういう形で運営にあたっていただきたい。このように2か所の避難所を一つの運営委員会が面倒を見ていくという形は、おそらく柏市では初めての事例だと思います。委員長は大変かと思いますが、両校とコンタクトをとって進めていただきますよう、よろしく願います。

三番目に、令和5年度の避難所運営委員会の活動計画について。令和5年度はふる協で5避難所18町自治会の合同訓練は行いませんので、各避難所別の訓練を単体で行っていただきたいと思います。

増尾西小学校から聞いているのが、避難所開設運営訓練が1月19日。これはさっき言ったように増尾は増尾ふる協の4町会と藤心ふる協の4町会で構成されています。最近、藤心ふる協が随分力が入っていますので、それに合わせて増西の委員会も動いていただくということになります。補足がございましたらお願いします。

(増尾西小学校
避難所 塚本) 開設の訓練と避難者への対応を含めた訓練を行う予定です。同時に棚卸も実施したいと思っています。

- (ふるさと協議会 志水) 中原中学校避難所運営委員会に関しては、9月24日(日)に避難所開設手順訓練を行うということで、防災安全課の確認を受けながら、避難所開設の手順を確認する訓練を行うことでよろしいですか。
- (中原中避難所 正木) その通りで、規模としては20~30名を予定しています。
- (ふるさと協議会 志水) 土小学校避難所運営委員会は未定と書いていますが、今日の午前中に平川委員長が土小の学校と青少協と打ち合わせして、生徒のお泊り会を含めた災害訓練のようなことを企画していますので、ご報告をお願いします。
- (土小学校避難所 平川) 土地区の青少協と合同で、今年は増尾西小と土小の4年生を対象に参加希望をとって行きます。学校で「防災と安全な暮らしを守る」という授業があるのですが、その安全な暮らしを守るという中で避難所の体験をしてもらいます。昨年までは中学校でお泊り会という形をやっていたらしいのですが、今年は避難所の委員会と合同で行い、避難所開設の訓練として受付の設置や夕食の炊き出し、夜間の部では、青少協とのパトロールや防災関係の話し合いを行うなど、合同運営という形で訓練を実施したいと思っています。
- 土小の避難所運営委員会は、これまで、学校の改修のために活動を行っておらず、各町会も運営委員の選出を全くしてこなかったのですが、これを機に運営委員会も活発に動いていくことで進めていきたいと思っています。訓練の時期としては、9月中旬から10月中旬の週末ということで、まだはっきりとは決まっておりません。
- (土小学校避難所 高橋) 子どもたちには学校に泊まって体験してもらおうのですが、避難所運営委員会と一緒に体験してもらおうことで、災害が起きた時の運営委員会の役割を知って欲しいと考えています。また、昼間は避難の訓練と消防団による防火訓練、夜には夜食を作ったり防災の関係のレクリエーションなどをやることを通じて、子供たちに避難の仕方などを覚えてもらうと同時に、家庭に帰って体験したことを親御さんに伝えてもらいたいと思っています。募集人数としては、受け入れ態勢にもよるのですが、最大50名程度を予定しています。
- (ふるさと協議会 志水) 土中学校では何か予定はございますか。
- (土中学校避難所 大熊) 東武なかはら団地の自治会長は輪番制ですので、私も4月に自治会長となり、自動的に避難所運営委員会の委員長ということになりました。1年交代ということで皆様のところとは事情が違うかなと考えております。前任の自治会長から去年の8月に議事録を拝見しましたが、土中学校の発言は2ヵ所だけでした。私どもの自治会は70世帯に満たない小さなところであるにもかかわらず、どうして土中学校避難所の運営委員長を努めているのかわからなかったのですが、当自治会の過去の議事録を見たところ、平成29年度の活動実績の中で、「これまで土中学校避難所については加賀町会と増尾町会が主体となって運営されていたが、加賀町会は避難先の見直しの結果土中が対象から外れ、増尾町会についても土小と増尾西小を避難所としており避難者が限られる見込みということから、東武なかはら団地自治会が主体となって運営を行うべき」という記載を見て、事情を知った次第です。
- 先日、アミュゼ柏での会議でいただいた資料によりますと、東武なかはら団地自治会は67世帯ですが、増尾町会は257世帯で柏市内では2番目に大きい町会と書いており、人数規模でいうと40分の1程度でございます。土中学校を避難所として使う自治会は増尾町会の中でもごく一部かと思いますが、それでも圧倒的な差がありますので、個人的には増尾町会さんが委員長を務めるほうが良いかと思っております。ただ、委員長を拝命している以上は、できる限りのことをさせていただきます。皆様の発言をお聞きして、大きな落差を感じていますが、私はまだ働いておりますので、震度5強以上の大地震が発生した時に、私が本当に体育館の鍵を開けることができるのかという不安はあるのですが、備蓄品を体育館の中に入れて、市役所や学校の方の到着を待つための準備することについては、まずは、手順書を作っておきたいと思っています。
- 一点、行政の方をお願いがございまして、これは去年の議事録にも書いてありましたが、ここに令和〇〇年度避難所開設運営マニュアル簡略版柏市立土中学校というものがございまして、発行者は柏市教育委員会、柏市防災安全課、平成30年4月に柏市立土中学校が改訂したとなっております、今から5年前ですので、この最新版をどうしてもいただきたいと考えております。最新版は、どなたにお願いすれば作っていただけるのかを、本日、この場で教えていただきたいと思えます。もし、30年の改訂版を作ったのが柏市立土中学校であれば、教育政策課の平川さんをお願いすれば、最終的にいずれかの皆様に作っていただけるものではないでしょうか。
- (教育委員会教育政策課 平川) 教育委員会では平成30年4月に改訂したものは持っておらず、おそらく土中学校で改訂もされてデータなどを持っている状態かと思われます。
- (土中学校避難所 大熊) 私どもとしますと、土中学校に対してはお願いということになりますので、指示や要請はできにくいものですから、教育委員会からご指示をいただけませんかでしょうか。
- (教育委員会教育政策課 平川) 土中学校のほうから取り寄せるということであれば、問題はございませんが、データを受け取った場合はどうすればよろしいでしょうか。
- (土中学校避難所 大熊) ぜひよろしくお願いいたします。データを受け取りましたら、最新版に直して欲しいということです。それは土中学校の方が作るものだと思っておりますので。



- (ふるさと協議会 志水) 各避難所別の運営マニュアルというものは、基本的に避難所運営委員会が全部作っています。平成24年に柏市が防災安全課と教育委員会で第1版を出してきています。それをベースにして、各避難所が独自に自分たちの実状に合わせた形でマニュアルを全部作り変えています。ですから、土中という名前が入っているとすると、その時の土中の避難所運営委員会の人が基本的にデータを作っていると思います。
- (土中学校避難所 大熊) これを見ると、ほぼ全部、先生のお名前が書いてあるように思うのですが。
- (中原中避難所 正木) 中原中学校にも、中学校が作ったマニュアルがあるのですが、それは、生徒を避難させるためのマニュアルではないですか。
- (土中学校避難所 大熊) 私どもとしては、中学校が作ったマニュアルをスタートとして検討したいと考えておりますので、それを新しい内容に作り替えたものをいただきたいというお願いです。
- (ふるさと協議会 志水) そうすると、どこかの避難所からマニュアルをもらったらいかがでしょうか。土小学校では、結構力を入れて運営マニュアルを作っておられます。
- (土中学校避難所 大熊) それはわかるのですが、先生の具体的なお名前も書いていますので、中学校でお作りになるのではないですかとお尋ねしているわけです。
- (中原中避難所 正木) それは、土中学校にお願いすればいただけると思います。
- (土中学校避難所 大熊) 去年も前任の自治会長が同じような質問をしたと聞いていますが、作ってもらえるかどうかわからないものですから、それを教育委員会を通じてお願いしたいということなのですが。
- (教育委員会教育政策課 平川) 土中学校のほうに更新したものがあるか、確認してみたいと思います。
- (土中学校避難所 大熊) ぜひ確認をよろしく願います。ご連絡をお待ちしております。
- (土中学校避難所 大熊) 次に、今の運営マニュアルと同じようなお話なのですが、もっと根本的な事柄で、土中学校避難所運営委員会規約というのを令和2年に案として作ったものが承認されなままになっています。この避難所運営委員会規約の承認は誰がすればいいのでしょうか。他の避難所運営委員会ではどういう形で規約を作って承認されているのかをお聞きしたい。
- (中原中避難所 正木) 中原中学校避難所運営委員会を発足した時に、運営要領というものを作りました。これには、対象町会・自治会の名前と委員長と副委員長をどこの町会から出すのかという監理団体を取り決めており、年に1回委員会を開催する旨を記載しています。そのように大まかなものを決めて、委員会メンバー全体で承認してもらいます。どなたに承認してもらうのかということに関しては、我々はあくまでも任意団体ですので、その時の委員会メンバーで承認します。また、役員は毎年代わりますので、毎年配って確認していくという形が良いのではないのでしょうか。
- (土中学校避難所 大熊) 運営委員会のメンバーだけで承認できるのか、それとも関連する自治会の皆さん方に承認してもらわなければいけないのかがよくわかりませんでした。今まで案のままになっているというのは、結局担当した会長さんが自治会の全員に承認してもらわないとだめなのかなということで、今までコロナの関係もあって、案を作ったままになっていたと思われます。そうすると自治会全員に承認してもらわなくとも、運営委員会の中で承認すれば良いということで、認可団体でもないで規約そのものを市などに提出する必要もないということですね。わかりました。
- (ふるさと協議会 志水) 次に柏南高校さんお願いします。
- (柏南高校避難所 河野) 柏南高校は10月15日(日)に訓練を行うということで日程は決まっています。県立高校で、この日以外は使えないということで設定しています。先日、新任になった教頭先生のところと校長先生に挨拶に行きまして、今後のことを話に行ったということで、まだ内容については具体的に詰めてはいません。さきほど高橋さんから土小の運営委員会でお泊り会についてのお話がありましたが、今年は無理にしても先々、夜間訓練というのをしてみたいと思っていて、このことは荒川校長にも言っており、前向きに検討しますというお返事をいただいています。
- (ふるさと協議会 志水) ありがとうございます。各避難所ではいろんな事情がありますので自分たちにあった訓練方法の検討をよろしく願います。



次は、避難所開設・運営訓練時の行政との連携についてということで、別紙③に記載していますが、柏市地域防災計画震災編137ページの災害対策で、避難所開設・運営ということで、担当部局として市民生活部、健康医療部、福祉部、都市部、教育総務部、生涯学習部、学校教育部が明記されています。また、関係機関として社協とかがありますが、今まで平成27年から災害訓練を続けていますが、これらの部の職員が訓練に参加して一緒に実施したということはありません。一緒に訓練をしたこともない職員が、いざという時に急に来て連携がとれるかどうか、疑問に感じています。防災の主管である防災安全課としてはそういう状況をどのように考えているのかお聞きしたい。

(柏市防災安全課 増田) ここに書いている担当部局ですが、これは運営している施設を持っている組織を書いています。例えば都市部はリフレッシュプラザを運営し、健康医療部は老人福祉センターを運営したりしています。学校の場合は教育委員会などになりますが、昨年も福祉センターがある藤心での訓練などには健康医療部などが参加しています。そのような課が訓練に参加したほうが良い場合は、防災安全課にご相談いただければ、防災安全課から担当部局に参加するように声をかけさせていただきます。

(ふるさと協議会 志水) 災害時には防災安全課は本部で指揮をとることになり、避難所開設の直接の指揮にはあたりませんので、避難訓練の実施の際には、ここに書かれている部局で関係がありそうなところには、防災安全課を通じて参加の依頼をしていただければと思います。

次に、災害用トイレについて。増尾西小学校がマンホールを利用するトイレを作ったと思うのですが、それ以降の他の避難所での展開はどのようになっていますか。

(柏市防災安全課 増田) マンホールトイレは上下水道局が進めているのですが、私どもが聞いているところでは土小にも設置しています。これは下水管が近くまで来ているところということが条件で、最終的には中学校でも進めるという計画になっており、予算要求は行っていますので、そろそろ動くとは思いますが、具体的にどこから始めるかは未定となっています。

(ふるさと協議会 志水) 柏南高校は、基本的に計画の中にはいるのでしょうか。校長先生にお話しした時、下水は通っているのでも設置は可能ということでした。

(柏市防災安全課 増田) 現在は市立の小・中を対象としているのですが、高校については上下水道局の計画では今のところございません。

(ふるさと協議会 志水) 他に質問があればどうぞ。

(増尾西小学校 避難所 國分) 質問ではないのですが、平成24年頃だったと思うのですが、柏市が各町会にトランシーバーを貸し出していますが、木戸前町会でも預かっているのですが、経年劣化で液晶漏れを起こして使用できない状況です。町会の備品ではないので勝手に処分できないのですが、どうすればいいでしょうか。



(柏市防災安全課 増田) 数字は把握はして、使えないのであれば回収いたしますが、どういたしましょうか。

(増尾西小学校 避難所 國分) では、持っていきますのでよろしくお願いします。

(ふるさと協議会 志水) その他はございませんか。

(土小学校避難所 平川) 災害用トイレの運用なのですが、小型の倉庫と体育館の鍵はボックスの中に入っていますが、こちらの鍵については学校の管理になっていると思うのですが、運用についても市役所側と考えてよろしいでしょうか。

(柏市防災安全課 増田) まだ協議中で、住民の方と協力しての運用にはなると思うのですが、鍵の管理については考えておきます。

(柏南高校避難所 河野) 柏南が災害用トイレの対象外ということですが、これについては、県に働きかけるとか、何か別の方法がないものでしょうか。

(柏市防災安全課 増田) 県立ですので県にお願いするようになるのですが、検討したいと思います。

(柏南高校避難所 河野) 市内に8校県立高校があるのですが、避難所運営委員会があるのは柏南だけだと思うのですが、トイレが使えないというのは非常に大きなデメリットかと思っておりますので、ぜひよろしくお願いします。

(ふるさと協議会 志水) 今後も行政との連携をうまくとりながら、避難所を円滑に運営できるようにしたいと思います。遅くまでありがとうございました。